

## 第28回生物学技術研究会参加報告

高柳 充寛 化学・生物 技術分野

### 1. はじめに

平成29年2月16日、17日に岡崎コンファレンスセンターで行われた、第28回生物学技術研究会と、第39回生理学技術研究会が合同開催された技術研究会に参加した。第13回奨励研究採択課題技術シンポジウムも同時開催であった。開催はそれぞれ、大学共同利用法人 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 技術課および生理学研究所技術課である。これらの技術研究会に、国公立や私立の大学、文科省管轄研究機関や理研などから技術系職員130名が参加した。ちなみに2016年のノーベル生理学・医学賞を受賞された大隅良典氏の現役時代の所属が基礎生物学研究所分子細胞生物学研究部門の教授であった（定年退職後に東京工業大学特任教授・栄誉教授）。

### 2. 研修内容

1日目午後が研修講演とポスター発表、2日目が口演発表のプログラムであった。研修講演は生理学研究所 細胞構造研究部門 古瀬幹夫教授であった。生物学の基礎的な研究は、結局難病などの医学的な課題に結びつくことが多い点でノーベル賞の大隅氏の研究と共通すると講演を聴いて感じた。

この技術研究会のポスター発表はコアタイムに1分で要点をパワーポイントでプレゼンテーションしてから、ポスター前に待機、説明や討論を行うスタイルである。また、2日目技術研究会終了時までポスターをはがさないでください、とのお願いがあり、ポスター発表が終了した後の空き時間にも発表ポスターを見ることができた。

3Dプリンターの材料等の使い分け、実物展示が非常に興味深かった。技術課長退職記念講演などとして技術研究会の過去と経緯を振り返るセ

ッションが用意され、過去と経緯をよくしらない私には参考になった。発表者と実行委員会と一般参加者で名札の色を変えるなどの工夫に、感心した。懇親会はスイーツなどが充実しており、女性技術職員が比較的多い生理研・基生研ならではの感じた。施設見学が5コース設定され、私は植物育成施設・圃場見学コースに申し込んだ。無線LANを利用した温度センサーで異常時にメールが送信される仕組みに興味を持った。

### 3. おわりに

基礎生物学研究所 技術課および生理学研究所技術課の主催であることから、生物関連であっても実験・実習テーマは反応が薄く、奨励研究関連の発表や担当する機器に関する発表とそれに対する応答が活発である傾向が見受けられたなど、いくつかの技術研究会の性格の違い、棲み分けを実感した。今後の発表の機会があれば考慮に入れ、実験・実習テーマであれば生物関連であっても実験・実習技術研究会あるいは総合技術研究会の実験・実習・社会貢献分野にしようと思う。また、見聞きした実行委員会の仕事ぶりを、機器・分析技術研究会 in 長岡の開催の参考にしたいと思う。

